

## 第1回ワークショップ「カードゲームで学ぶ地方創生」概要

8月10日（土）、福井県生活学習館において、長期ビジョン策定のためのワークショップ「みんなで描く2040年 福井の未来地図」を開催しました。

この日は、学生グループ約35名、若者・子育て世代グループ約35名の合計約70名が参加し、持続可能な社会づくりについて、カードゲーム「SDGs de 地方創生」を通じて楽しみながら体験しました。

また、福井県の将来人口や地域社会等に関する環境変化など、データを交えて学びました。

「SDGs de 地方創生」とは

ロールプレイング形式で仮装地域の行政職員や観光事業者らを担当し、立場ごとにSDGsに沿ったゴールが設定され、「お金」と「資源」のカードをチームで交換しながら、地域プロジェクトの実行を目指すカードゲーム

### <参加者の感想（一例）>

「みんなで協力することで、無限の可能性がある  
と思った」（高校生）



「みんなが危機感を感じて協力したから目標が達成  
できた。大丈夫だと思っていたら後で大変なこと  
になると思う」（高校生）

「環境や経済、他のこととバランスをとりながら人  
口を増やすことは難しいと感じた」（子育て世代）

